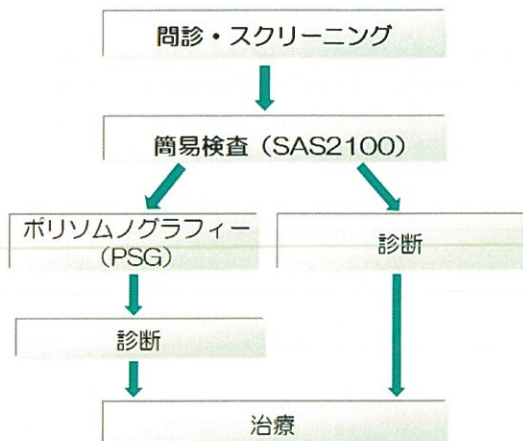


●睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは、眠っている間に気道が塞がり、睡眠中に無呼吸状態が繰り返される病気です。日中の眠気が交通事故や労働災害の原因になりかねない危険性もあり、SASは早期検査・治療が重要な病気と言えます。近年SASは広く知られるようになりましたが、SASの検査・治療が可能な施設は限られています

●当院ではSASの検査から治療まで一連の診療が可能です。

(SAS検査から治療の流れ)



●簡易検査について

検査は、小型の機械をご自宅に送付し一晩の睡眠状態を検査します。指や鼻にセンサーを取り付けますが痛みを伴う検査ではありません。費用は3割負担の方で2,700円です。



●精密検査について

《PSG（ポリソムノグラフィー）検査》

睡眠中の呼吸やいびきの状態に加え、脳波・筋電図などを測定することでより詳細に睡眠状態を検査します。ご入院頂いてSASの確定診断を行う検査です。体にセンサー類を取り付けますが痛みを伴う検査ではありません。費用は概算3万円です。



●治療について

検査により治療が必要となると持続陽圧呼吸療法(CPAP)、Adaptive servo-ventilation(ASV)、在宅酸素療法(HOT)などの治療を開始します。治療開始後は、原則として月1回の通院により治療効果をフォローします。

